

# くらて病院の新体制と 今後の構想について

地方独立行政法人くらて病院 理事長 河野公俊



## ≡ 現在の体制について

平成30年4月、田中宏明医師（整形外科）を新病院長とした新しい体制で診療を開始しました。

昨年度末に前病院長をはじめ常勤医師6名が退職いたしました内科の診療体制につきましては、これまで診療を行っていた嘱託内科医師3名に加え、私自身を含む内科常勤医師2名及び週4回勤務の透析専門の医師が加わり診療を行っています。

外来診療につきましても、いまだ十分とは言えませんが、近隣大学病院のご支援もいただき呼吸器内科、消化器内科及び脳神経外科は、これまでよりも多くの患者様を診療できる体制を整えております。

当院の事情によって他院を受診された患者様も、再度当院での診療をご希望の場合は、柔軟に対応いたします。まずは、現在診療を受けている医師とご相談のうえ、当院にお問い合わせください。

今後さらに入院を含めた診療体制を拡充すべく、医師の招聘に尽力して参ります。

## ≡ 今後の構想について

鞍手町及び周辺地域では、当面高齢者人口の増加が続くことが予想されており、地域医療の中心として、当院の果たすべき役割は非常に重大であると考えております。

さらに、中長期的には、地域の活性化、住みやすい環境づくりのため、次の世代にもより良い医療を提供できるような体制を整備していくことが重要と考えております。

今後、当院が鞍手町唯一の病院（20床以上の入院施設を持つ医療機関）として、地域における医療及び介護の中心的な役割を果たしていくことに加え、福岡県が策定した地域医療構想や国の医療政策との整合性を図りながら将来にわたって鞍手町民のみならず地域住民の「安全・安心な医療の提供」を継続していくため、くらて病院設置者である「鞍手町」と連携し、新病院の建設に向けた取り組みを積極的に進めているところです。

現在の進捗としては、プロポーザル方式（※）にて設計業務を委託する事業所の選定を行っているところです。

新病院の構想は、町民にとって安全安心な医療の提供に加え、この地域で地域医療をけん引していくこうとする医師、また地域医療を担う多くの医療従事者等にとっても魅力あるプロジェクトであり、地域の活性化や医師の招聘にもつながるものと考えております。

職員一同、新しい体制で二丸となつて、地域住民の皆様将来にわたって優れた医療サービスを提供できるよう、日々努力して参ります。



くらて病院理事長  
河野 公俊

昭和50年／九州大学医学部卒業、九州大学医学部第一内科入局（内科勤務医）  
昭和62年／大分医科大学医学部助教授  
平成6年／九州大学医学部助教授  
平成8年／産業医科大学医学部教授  
平成23年／産業医科大学学長  
平成26年／産業医科大学名誉教授、顧問

※プロポーザル方式…業務の委託先を選定する際に、複数の者に企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。